

最近の酪農情勢（メモ）

令和2年2月20日
日本酪農政治連盟

I 外交交渉

1. 日EU・EPA交渉

2018年7月17日：安倍総理はドナルド・トウスク欧州理事会議長及びジャン＝クロード・ユンカー欧州委員会委員長との間で第25回日EU定期首脳協議及び少人数会合を実施し、日EU経済連携協定（EPA）及び戦略的パートナーシップ協定（SPA）に署名したと発表した。

2. TPP交渉関連

2018年8月：日米両政府は9日新たな貿易協議（FFR）の初会合をワシントンで開催した。米国側は自由貿易協定（FTA）を念頭に2国間交渉を要求。日本側は環太平洋連携協定（TPP）復帰を改めて促し、双方の考えの肌たりが改めて浮き彫りになった。

2019年1月：米国を除く環太平洋連携協定（TPP）参加国11か国は、19日、協定の運営を担うTPP委員会の初会合を東京都内で開いた。同委員会は、協定発効後の最高意思決定機関。国内手続きを完了し、60日たった「締約国」が正式メンバー。現時点では、メキシコ、日本、シンガポール、NZ、カナダ、オーストラリア、ベトナムの7か国が該当する。

3. 日米TAG交渉関連

2018年9月：安倍総理は26日、米国にてトランプ大統領と会談し、日米の全ての物品を対象にした日米物品貿易協定（TAG）の交渉入りに合意した。農林水産品の関税について、共同声明では環太平洋連携協定（TPP）で合意した範囲が最大限とする日本の立場に対し、米国は尊重するとの表現となった。

2019年6月：茂木敏充経済再生担当相は4日の閣議後会見で、日米貿易協定交渉の事務レベル協議を米ワシントンで10、11日に開くと発表した。農産品や自動車について実務者が集中的に議論する。農水、経済産業両省の幹部が初めて協議に出席し、具体的な品目について現行の関税率や輸出入数量などの実情を共有すると報道された。

2019年8月：自民党は20日、TPP・日EU・日米TAG等経済連携協定対策本部を開催し、ヤマ場を迎える日米貿易協定交渉への対応を協議した。出席議員からは、環太平洋連携協定（TPP）を超える農産品の市場開放を回避するよう求める意見や、期限ありきの交渉に釘を刺す声が上がった。（フランス南西部ビアリッツで24～26日に開催されるG7サミットに合わせた日米首脳会談で、合意に達するのではないかとの見通しがある）

2019年9月：9月26日農林水産大臣の談話が発表された。それによると、「本日、安倍総理とトランプ大統領が首脳会談を行い、日米貿易協定の最終合意に至った。農林水産品に係る日本側の関税について、TPPの範囲内とすることができた。我が国の国民の主食であるコメについて、関税削減・撤廃等からの「除外」を確保した。また、脱脂粉乳・バターなど、TPPでTPPワイドの関税枠が設定された品目について、新たな米国枠を一切認めなかった。さらに、牛肉についてTPPと同内容の関税削減とし、2020年のセーフガードの発動規準数量を昨年度の米国からの輸入実績より低い水準とした」などとなった。

II 令和2年度

畜産酪農対策

令和2年度畜産物価格・関連対策については、①補給金及び集乳調整金の単価は、経営意欲、担い手意欲を促す価格となるよう決定すること、②交付対象数量は国内の乳製品の需給状況を考慮し適切に決定すること、③加工原料乳等生産者経営安定対策事業は継続すること、などを要請した。

結果は、補給金単価が10.85円、対象数量は345万トン、所要額は374億円（前年所要額は367億円）となった。尚、集送乳調整金は2.54円/kg、加工原料乳生産者補給金は8.31円/kgとなった。

【指定肉用子牛】	保証基準価格	合理化目標価格
乳用種	164,000円/頭（164,000円）	110,000円/頭（110,000円）
交雑種	274,000円/頭（274,000円）	216,000円/頭（216,000円）

III 令和2年度政府農林予算2兆7307億円(対前年比118%)で決定（概算要求）

令和元年9月11日の中央委員会の議を経て要請内容を決定、特に本年度は①指定団体機能の維持、②酪農ヘルパー確保等対策、③乳用牛預託事業等対策、④自給飼料対策、⑤家畜排せつ物処理施設等対策、⑥産業獣医師確保対策、⑦自然災害対策、を重点項目とし、要請運動を継続して展開した。これらの要請活動の結果、以下の事業等が政府案として決定した。

主な酪農関連対策

① 令和2年度当初予算

- ・ 持続的生産強化対策事業のうち環境負荷軽減型酪農支援（エコ酪事業）
（交付金単価：飼料作付面積1.5万円/ha）
（有機飼料作付面積は +3万円/ha：追加交付） {62億円（63）}
- ・ 持続的生産強化対策事業のうち畜産経営体生産性向上対策
（搾乳ロボット、発情発見装置等の機械導入支援） {30億円（30）}
- ・ 加工原料乳生産者補給金 {375億円（368）}

② 令和元年度補正予算

- ・ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）
{409億円（560）}
- ・ 畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進のうち、和牛・乳用牛の増頭・増産対策
畜産クラスター計画に基づき、牛肉の輸出拡大や都府県酪農の生産基盤強化のため、繁殖雌牛や乳用後継牛を増頭する場合に奨励金を交付
（交付金単価：27.5万円/頭） {109億円}
- ・ 畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進のうち、和牛・乳用牛の増頭・

増産対策

後継者不在の家族経営が将来的に地域の担い手に経営資源を継承する場合、規模拡大をせずとも、家族経営の畜舎の整備等を支援 {62 億円}

③ A L I C 事業関連

- ・酪農経営支援総合対策事業 {45 億円 (44) }
(後継牛の地域内生産、後継牛育成のための広域預託を推進する取り組み支援、酪農ヘルパーの利用拡大のための支援、担い手育成支援等)
- ・堆肥舎等長寿命化推進事業 {2 億円 (2) }
- ・畜産経営災害総合対策緊急支援事業 {46 億円 (44) }
(非常用電源の整備支援等)
- ・酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業 {55 億円 (55) }

④ その他

- ・鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進 {102 億円 (104) }

* () 内の数値は前年金額

IV 関東乳販連、令和2年度飲用向け乳価を据え置きで決着

令和2年1月20日、関東乳販連は令和2年度飲用向け、発酵乳向け、学乳向け乳価について、据え置きすることで妥結したと発表した。なお、加工向け乳価については、ホクレンの交渉結果が全国の目安になる。

V 酪農家戸数 15,000 戸 (31.2/1 現在 畜産統計. 農水省 7/2 発表) () 内は前年

	酪農家戸数[戸]	乳牛飼養頭数[千頭]	一戸当たり飼養頭数[頭]
全 国	15,000 (15,700) 4.5% 減	1,332(1,328)0.3% 増	88.8 (84.6) 5.0%増
北海道	5,970 (6,140) 2.8% 減	801 (791) 1.3%増	134.2 (128.8) 4.2% 増
都府県	9,070 (9,540) 5.0%減	531 (537) 1.1%減	58.5 (56.3) 3.9%増

VI 配合飼料価格 (配合飼料給与、3.3 t/年・頭→1 万円上がれば 33,000 円の負担増)

- 27 年 1～3 月期 2,550 円上げ。円安に加え主原料の値上がり要因。
- 27 年 4～6 月期 750 円下げ。7～9 月期 1,800 円下げ。10～12 月期据え置き。
- 28 年 1～3 月期 700 円下げ。4～6 月期 3,700 円下げ。7～9 月期 800 円上げ。
- 28 年 10～12 月期 1,650 円下げ。
- 29 年 1～3 月期 1,950 円上げ。4～6 月期 700 円上げ。7～9 月期 1,100 円下げ。
- 29 年 10～12 月期 400 円下げ。30 年 1～3 月期は 1,500 円上げ。4～6 月期 1,100 円上げ。
- 30 年 7～9 月期 1,550 円上げ。10～12 月期 800 円下げ。31 年 1～3 月期は 500 円上げ。
- 31 年 4～6 月期 850 円下げ。令和 1 年 7～9 月期 400 円下げ。1 年 10～12 月期 650 円下げ。
- 2 年 1～3 月期 700 円上げ。

Ⅶ最近の酪政連活動 《主な活動、下記は一例です。》

政府・国会 その他	酪政連・関係機関
1/19(土)TPP参加国は、19日、協定の運用を担う「TPP委員会」の初会合を都内で開催し、「新たな国、地域の加入を通じて協定を拡大していく強い決意を確認した」とする共同声明を採択したと発表した。	1/15(火)酪政連事務所を(新)酪農会館に移転し、業務を開始する。
2/10(日)グランドプリンスホテル高輪にて、第86回自由民主党定期大会が開催される。	2/5(水)1100三役会議〔酪農協会会議室〕 2/22(金)1300事務局長会議〔参議院議員会館〕 3/6(水)1100三役会議〔自由民主党会館〕 3/6(水)1300中央委員会〔自由民主党会館〕 3/6(水)1400通常総会〔自由民主党会館〕 平成30年度運動報告並びに収支決算承認の件 平成31年度運動方針並びに収支予算承認の件 平成31年度会費賦課方針決定の件 監事の補欠選任の件、を原案通り可決承認する。 3/6(水)1600自民党酪政会との懇談会〔自由民主党会館〕
4/12(金)TPP・日EU・日米TAG等経済連携協定対策本部、TPP交渉における国益を守り抜く会 合同会議：日米TAG協定について	4/19(金)1300正・副委員長会議〔全酪連役員会議室〕 酪農ヘルパーに関する状況について 獣医事をめぐる情勢について 糞尿処理対策の状況について畜安法改正後の状況について 他を協議
7/4(木) 第25回参議院議員通常選挙 公示 7/21(日)第25回参議院議員通常選挙 投開票	5/14(火)大槻委員長は小里農林水産副大臣に「日米物品貿易協定(TAG)に関する要請」を実施。 5/29(水)1300中央委員会 令和2年度酪農政策・予算確保に関する要請を協議。 会議終了後、東北酪政会が開催され、同様の議論がなされる。
8/20(火)自由民主党は、TPP・日EU・日米TAG等経済連携協定対策本部会合を開催。 フランス南西部ビアリッツで、開催されるG7サミット開催中に大筋合意があるのではとの憶測に関する対応を協議。	6/12(水)1230酪政会が開催され、令和2年度酪農政策・予算確保に関する要請が協議される。 会議終了後、中央委員会を開催し、改正畜安法2年目の現状について 、及び軽減税率についての勉強会、議論を実施する。
9/11(水)第4次安部再改造内閣が11日発足し、農相には江藤拓・前首相補佐官が就任した。なお、副大臣には、伊東良孝氏、加藤寛治氏、政務官には、藤木しんや氏、河野義博氏が就任した。なお、自民党総務会長に鈴木俊一氏が就任した。	7/4(木) ~20(土) 第25回参議院議員通常選挙 に関し、応援活動を実施。
10/23(水)自由民主党、農林・食料戦略調査会、農林部会、農林水産災害対策委員会合同会議が開催され、大槻委員長は台風19号被害への支援対策に関する緊急要請を行う。	9/11(水)1300中央委員会 令和2年度酪農政策・予算確保に関する要請を協議。 会議終了後、ブロック別要請活動を実施した。
10/31(木)自由民主党畜産振興議員連盟総会が開催され、畜産・酪農をめぐり情勢等が協議され、畜産物価格に関する団体要請を受ける。大槻委員長はこれに関する要請を行う。	9/26(木)1200江藤拓農林水産大臣に面会 大槻委員長は令和2年度酪農政策・予算確保に関する要請書を手渡す。
11/6(水)自由民主党、農林・食料戦略調査会、農林部会、農林水産関係団体委員会、農政推進協議会合同会議が開催され、令和2年度農林関係税制改正に関する協議がなされ、大槻委員長は税制に関する要請を行う。	10/16(水)1300正・副委員長会議〔全酪連役員会議室〕 令和2年度畜産物価格及び関連対策に関する要請について 令和2年度税制改正要望について 他を協議する。
12/12(木)自由民主党、農業・食料戦略調査会、農林部会、農政推進協議会合同会議が開催され、令和2年度農林関係税制改正(結果報告)、令和元年度第2次補正予算、令和2年度農林水産関係予算等について協議される。	11/20(水)1200酪政会が開催され、令和2年度畜産物価格及び関連対策に関する要請についてが協議される。 会議終了後、中央委員会を開催し、令和2年度畜産物価格及び関連 対策に関する要請について、協議する。
	12/4(水)自由民主党畜産・酪農対策委員会が開催され、大槻委員長より団体要請を実施。 12/6(金)自由民主党畜産振興議員連盟総会が開催され、畜産・酪農をめぐり情勢等が協議され、令和2年度畜産物価格について大槻委員長より団体要請を実施。 R2.1/29(水)農水省、酪農ヘルパー全国協会、全酪連との意見交換会(全酪連役員会議室) R2年度ヘルパー関連対策事業及び今後のヘルパー事業の在り方。や支援体制について意見交換。

I 生乳・牛乳・乳製品等の動向

1. 生乳受託販売量・用途別処理量〔中央酪農会議、年度・月別〕

〔単位：千トン、(前年同月比%)〕

年度月	合計		北海道		都府県		飲用向け		発酵乳等向		特定乳製品向		生クリーム等向		チーズ向	
	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%
28	7,054.4	99.05%	3,792.3	99.66%	3,262.1	98.35%	3,287.9	100.80%	453.4	100.35%	1,548.8	94.61%	1,339.4	99.82%	415.0	96.60%
29	6,983.1	98.99%	3,799.7	100.19%	3,183.4	97.59%	3,266.8	99.36%	472.3	104.17%	1,499.8	96.84%	1,329.2	99.24%	415.0	100.00%
30	6,963.3	99.72%	3,832.4	100.86%	3,130.9	98.35%	3,280.9	100.43%	466.7	98.82%	1,479.5	98.64%	1,336.1	100.52%	401.1	96.65%
R1.1	590.4	99.14%	324.8	99.69%	265.6	98.47%	268.6	100.54%	37.1	98.27%	141.4	95.59%	107.4	101.03%	35.9	98.60%
2	541.2	99.52%	295.2	99.74%	246.0	99.25%	249.2	100.17%	34.8	99.81%	122.2	99.77%	101.2	99.72%	33.9	93.35%
3	609.5	99.93%	330.1	100.61%	279.5	99.13%	257.4	100.62%	39.9	100.12%	159.8	102.90%	116.7	98.91%	36.7	89.55%
4	591.1	98.94%	321.2	100.49%	269.9	97.15%	257.8	97.83%	40.2	100.56%	147.1	100.96%	112.8	98.76%	33.2	97.56%
5	614.0	99.18%	339.7	101.22%	274.3	96.76%	281.8	97.45%	41.3	98.80%	145.4	104.00%	109.5	96.05%	35.9	104.99%
6	589.0	99.10%	332.9	101.12%	256.1	96.58%	285.3	98.30%	40.4	98.19%	121.2	101.86%	108.0	97.67%	34.1	101.98%
7	590.2	100.22%	337.2	101.13%	253.1	99.04%	271.8	94.60%	41.3	100.09%	131.7	117.11%	112.5	99.74%	33.0	93.88%
8	566.9	97.72%	328.7	100.10%	238.2	94.63%	267.5	98.32%	40.3	97.08%	117.0	95.59%	110.1	99.45%	32.1	95.77%
9	553.0	103.03%	317.2	108.94%	235.8	96.03%	284.5	101.61%	38.4	100.11%	92.4	111.00%	107.0	98.82%	30.7	114.40%
10	571.7	99.96%	323.9	101.86%	247.8	97.58%	290.5	97.97%	38.6	100.56%	98.3	105.80%	112.9	98.41%	31.3	102.79%
11	555.0	100.29%	312.5	101.79%	242.5	98.42%	268.1	97.90%	37.7	102.79%	105.4	109.12%	111.4	96.34%	32.4	105.69%
12	582.5	100.40%	327.4	102.33%	255.1	98.03%	252.3	99.68%	35.8	99.23%	146.5	101.82%	113.9	102.69%	34.1	94.00%
1	595.0	100.78%	333.5	102.69%	261.5	98.46%	252.3	93.93%	37.1	100.05%	155.0	109.58%	104.8	97.62%	34.1	95.02%
令和14-令和21	5,808.4	111.23%	3,274.2	113.59%	2,534.3	108.31%	2,711.8	108.23%	390.9	110.11%	1,260.1	119.32%	1,103.0	109.12%	330.9	112.34%

2. 生乳生産量・用途別処理量〔農水省、年度・月別〕

〔単位：千トン、(前年同月比%)〕

年度月	生乳生産量						処理内容						市乳化率(B/A)		
	合計[A]		北海道		都府県		牛乳等向け				乳製品向け	その他			
	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	[B]		うち業務用向け						
27	7,407.3	101.04%	3,897.1	102.01%	3,510.2	99.98%	3,953.2	101.10%	314.6	103.77%	3,398.5	101.10%	55.6	93.50%	53.37%
28	7,346.0	99.17%	3,895.5	99.96%	3,450.4	98.30%	3,984.1	100.78%	305.6	97.14%	3,310.5	97.41%	51.3	92.35%	54.24%
29	7,291.7	99.26%	3,915.8	100.52%	3,375.9	97.84%	3,982.2	99.95%	320.0	104.69%	3,259.9	98.47%	49.1	95.68%	54.61%
30	7,285.2	99.91%	3,963.6	101.22%	3,321.6	98.39%	4,006.1	100.60%	337.2	105.39%	3,231.3	99.12%	46.8	95.29%	54.99%
30.12	609.8	99.82%	333.2	100.86%	276.6	98.59%	314.6	99.53%	28.3	99.51%	291.2	100.15%	4.0	98.60%	51.59%
R1.1	615.9	99.14%	334.7	100.01%	281.3	98.12%	325.9	100.49%	27.5	105.48%	286.2	97.68%	2.9	71.53%	52.91%
2	567.1	99.65%	306.3	100.09%	260.8	99.13%	305.4	100.63%	26.2	100.84%	258.3	98.72%	3.4	85.38%	53.86%
3	639.3	100.01%	342.9	100.96%	296.4	98.93%	321.8	100.76%	28.0	100.23%	313.9	99.36%	3.6	90.92%	50.34%
4	622.8	99.84%	335.1	101.97%	287.7	97.48%	323.5	99.78%	29.7	108.57%	295.6	100.08%	3.6	88.19%	51.95%
5	644.2	99.42%	351.6	101.67%	292.5	96.85%	347.9	98.86%	28.9	101.58%	292.6	100.24%	3.7	89.12%	54.00%
6	618.9	99.68%	345.5	101.53%	273.4	97.43%	349.7	99.49%	28.0	102.51%	265.5	100.04%	3.7	91.62%	56.50%
7	623.3	101.10%	353.0	102.36%	270.3	99.51%	339.5	96.91%	25.6	98.55%	280.0	106.88%	3.7	89.82%	54.47%
8	595.6	98.16%	340.8	100.38%	254.8	95.33%	331.5	99.45%	28.2	103.13%	260.3	96.66%	3.8	90.97%	55.66%
9	583.5	104.08%	331.2	110.32%	252.3	96.89%	349.6	103.01%	30.4	112.17%	230.2	106.02%	3.8	90.91%	59.91%
10	601.9	100.91%	337.8	102.95%	264.2	98.41%	356.0	100.33%	32.1	98.27%	242.2	101.95%	3.7	90.75%	59.14%
11	585.4	100.91%	327.0	102.50%	258.5	98.98%	331.5	99.57%	30.1	97.04%	250.2	102.92%	3.8	91.24%	56.63%
12	615.8	100.98%	343.2	102.99%	272.6	98.57%	317.3	100.86%	29.7	104.95%	295.0	101.31%	3.6	89.66%	51.53%
R2.1	625.7	101.59%	345.7	103.29%	280.0	99.55%	325.4	99.86%	27.4	99.54%	295.6	103.28%	3.7	129.33%	52.01%
令和14-令和21	6,117.1	126.05%	3,410.9	128.88%	2,706.2	122.64%	3,371.9	123.13%	290.0	127.68%	2,707.2	130.05%	37.1	112.49%	55.12%

3. 飲用牛乳等生産量〔農水省、年度・月別〕

〔単位：千kg、(前年同月比%)〕

年度月	飲用牛乳等											乳飲料	酸酵乳	乳酸菌飲料		
	合計		牛乳		加工乳・成分調整牛乳											
	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%	合計	加工乳	成分調整牛乳	数量	前年同月比%	数量	前年同月比%					
27	3,464.1	100.30%	3,013.9	100.65%	450.2	97.70%	101.0	87.55%	349.2	101.80%	1,293.7	97.80%	1,081.3	107.50%	145.3	98.90%
28	3,500.9	101.06%	3,058.6	101.48%	442.3	98.25%	101.2	100.28%	341.1	97.67%	1,226.4	94.80%	1,091.7	100.96%	141.3	97.23%
29	3,534.4	100.96%	3,094.7	101.18%	439.8	99.42%	93.0	91.84%	346.8	101.68%	1,164.3	94.94%	1,074.3	98.41%	126.0	89.16%
30	3,562.7	101.03%	3,153.6	101.93%	409.2	94.63%	100.1	107.15%	309.1	91.18%	1,113.8	95.42%	1,061.0	98.39%	124.3	97.27%
30.12	285.7	100.50%	251.4	100.74%	34.3	98.81%	10.0	114.32%	24.3	93.58%	83.1	93.80%	81.0	94.74%	10.0	107.66%
R1.1	289.4	100.62%	256.2	101.07%	33.1	97.30%	8.9	117.11%	24.2	91.58%	82.2	97.06%	87.2	98.55%	9.5	90.61%
2	274.1	101.05%	243.4	101.79%	30.7	95.57%	8.4	114.67%	22.3	89.93%	76.0	97.52%	81.3	99.17%	9.3	102.89%
3	285.0	100.89%	251.7	101.91%	33.3	93.75%	9.0	107.49%	24.3	89.51%	88.2	96.63%	89.1	95.26%	10.4	94.82%
4	285.0	99.31%	252.6	100.09%	32.4	93.62%	10.1	137.17%	22.3	81.87%	90.1	97.00%	88.3	95.30%	9.9	88.91%
5	309.7	98.81%	276.2	99.35%	33.6	94.64%	9.8	130.50%	23.8	85.06%	99.4	102.75%	88.9	93.22%	10.8	94.59%
6	307.0	99.17%	274.5	99.69%	32.5	95.02%	9.0	129.83%	23.5	86.16%	97.8	102.19%	86.7	93.21%	9.9	85.43%
7	301.2	96.96%	267.3	97.59%	33.9	92.29%	9.5	133.67%	24.4	82.32%	102.2	99.32%	86.3	93.56%	10.3	90.43%
8	291.4	100.29%	256.1	100.88%	35.3	96.24%	10.7	138.21%	24.6	84.99%	105.1	101.67%	82.8	92.75%	9.4	86.87%
9	314.3	104.50%	279.4	103.71%	34.9	111.34%	10.6	124.01%	24.2	106.56%	108.1	103.81%	85.7	98.62%	8.8	88.79%
10	317.5	99.81%	282.9	99.92%	34.6	98.93%	11.3	124.83%	23.4	89.94%	102.0	102.09%	83.5	93.55%	10.4	108.41%
11	297.3	99.62%	264.3	99.84%	33.0	97.89%	11.3	118.93%	21.7	89.66%	88.7	100.30%	83.6	99.98%	10.0	108.60%
12	287.6	100.66%	254.6	101.28%	33.0	96.17%	11.6	116.20%	21.4	87.94%	85.3	102.62%	80.3	99.16%	7.2	72.25%
R2.1	290.1	100.27%	257.1	100.34%	33.0	99.70%	11.3	126.88%	21.7	89.67%	85.9	104.52%	84.9	97.39%	9.2	97.33%
令和14-令和21	3,001.2	123.58%	2,665.0	123.91%	336.2	121.07%	105.2	165.11%	231.0	107.95%	964.7	123.02%	851.1	117.81%	96.0	112.71%

II 牛肉、子牛価格の動向

(1) 11月推定出回り量88.6千トン(前年比106.6%)、推定期末在庫123.915トン(前年比98.5%)

年度月	生産量		輸入量		国内生産量の割合	推定出回り量					
						合計		うち輸入量		うち国産品	
28	324,257	97.55%	525,694	107.92%	38.15%	861,099	104.58%	538,565	108.77%	322,534	98.25%
29	329,730	101.69%	571,854	108.78%	36.57%	903,841	104.96%	575,804	106.91%	328,037	101.71%
30	332,857	100.95%	619,686	108.36%	31.66%	930,371	102.94%	600,550	104.30%	329,821	100.54%
30.12	30,829	96.39%	47,612	101.32%	39.30%	83,977	99.06%	52,962	99.51%	31,015	98.29%
R1.1	24,868	99.15%	50,565	141.85%	32.97%	72,814	112.04%	47,582	119.95%	25,232	99.65%
2	24,875	101.44%	40,106	107.81%	38.28%	64,721	100.73%	40,043	100.18%	24,678	101.64%
3	26,378	99.89%	39,248	87.49%	40.19%	71,357	92.16%	45,007	88.37%	26,350	99.45%
4	29,292	101.80%	67,276	108.32%	30.33%	94,950	105.86%	66,686	109.83%	28,264	97.54%
5	25,719	97.39%	48,563	89.71%	34.62%	71,450	95.88%	45,356	94.30%	26,094	98.76%
6	25,309	96.13%	47,284	99.93%	34.86%	67,883	95.60%	43,638	96.98%	24,245	93.20%
7	30,506	101.49%	62,531	95.47%	32.79%	84,957	98.51%	53,960	95.58%	30,997	104.06%
8	24,602	95.43%	53,557	92.77%	31.48%	79,879	105.65%	55,938	111.62%	23,941	93.91%
9	26,144	102.71%	50,534	96.71%	34.10%	76,157	97.67%	50,389	93.81%	25,768	106.22%
10	28,234	98.11%	55,378	107.70%	33.77%	81,831	103.13%	55,809	109.91%	26,022	91.08%
11	33,361	97.19%	47,285	91.49%	41.37%	88,627	106.64%	55,352	110.52%	33,275	100.76%
12	30,348	98.44%	47,285	99.31%	39.09%	88,100	104.91%	60,319	113.89%	27,781	89.57%
令和4-12	223,167	98.79%	432,408	97.80%	34.04%	645,734	101.29%	427,128	102.93%	218,606	98.23%

(2) 乳子牛(ホル雄)価格の推移 <農水省農業物価指数>

[単位:円/頭(前年同月比%)]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
29	81,570	94,520	105,100	112,600	116,900	130,000	118,600	102,200	93,120	101,500	114,000	119,400	107,459
	76.74%	86.48%	96.96%	98.95%	92.63%	101.17%	99.58%	102.32%	106.31%	115.85%	121.35%	133.78%	101.55%
30	116,000	129,900	148,800	157,600	152,200	145,100	132,200	120,200	108,100	120,400	123,100	116,800	130,867
	142.21%	137.43%	141.58%	139.96%	130.20%	111.62%	111.47%	117.61%	116.09%	118.62%	107.98%	97.82%	121.78%
31	103,600	109,300	130,700	141,100	134,600	134,500	135,400	115,000	103,000	96,700	99,770	102,000	127,788
	89.31%	84.14%	87.84%	89.53%	88.44%	92.69%	102.42%	95.67%	95.28%	80.32%	81.05%	87.33%	97.65%

■肉用子牛基金:29年度→乳用種=保証基準価格136,000円、合理化目標価格93,000円、交雑種=同210,000円、同152,000円。30年度→乳用種=保証基準価格141,000円、合理化目標価格98,000円、交雑種=同216,000円、同158,000円。31年度→乳用種=保証基準価格161,000円、合理化目標価格108,000円、交雑種=同269,000円、同212,000円。但し、令和元年度10月からの消費税増税(8→10)に伴い、乳用種=保証基準価格164,000円、合理化目標価格110,000円、交雑種=同274,000円、同216,000円へ期中改定。

補給金交付単価は、第1四半期:乳用種34,350円、第2四半期:乳用種24,100円、第3四半期:乳用種18,200円、第4四半期:乳用種10,600円、

25年度、26年度、27年度、28年度共に全期間補填実績なし

29年度、第1四半期乳用種0円、第2四半期:乳用種0円、第3四半期:乳用種0円、第4四半期:乳用種0円。

30年度、第1四半期乳用種0円、第2四半期:乳用種0円、第3四半期:乳用種0円、第4四半期:乳用種0円。

31年度、第1四半期乳用種0円、第2四半期:乳用種0円。

III 飼料等の動向

・配合飼料価格:令和2年1~3月はトン700円値上げ(全農)。円安ととうもろこし、大豆油粕のシカゴ相場が上昇したことなどから、値上げとなった。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
29	67,510	67,570	67,580	67,780	67,760	68,440	67,630	67,420	67,370	67,060	67,170	67,170
	95.16%	95.25%	95.53%	100.49%	100.55%	101.56%	98.73%	98.41%	98.35%	99.64%	99.66%	99.60%
30	68,910	68,810	68,840	70,060	70,110	71,340	71,370	71,370	71,420	70,800	70,710	70,700
	102.07%	101.84%	101.86%	103.36%	103.47%	104.24%	105.53%	105.86%	106.01%	105.58%	105.27%	105.26%
31	70,380	70,350	70,400	69,620	69,590	69,620	69,440	69,410	69,420	70,200	70,310	
	102.13%	102.24%	102.27%	99.37%	99.26%	97.59%	97.30%	97.25%	97.20%	99.15%	99.43%	0.00%

■配合飼料販売価格の改定幅と補填の実施状況

[単位:円/トン(補填交付金)]

	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
29	1,950(950)	700(1,700)	▲1,100(400)	▲400(0)
30	1,500(0)	1,100(300)	1,550(3,450)	▲800(2,300)
令和1(31)	500(300)	850(0)	▲400(0)	▲650(未定)
令和2	700(未定)			

4. バター、脱脂粉乳の生産・在庫状況

■ 元年12月生産量：バター5.7千トン(前年比105.9%)、脱脂粉乳12.7千トン(前年比101.5%)

■ 元年12月末在庫量：バター23.5千トン(前年比117.3%)<<3.8か月>>、脱脂粉乳69.3千トン(前年比113.3%)<<5.8か月>

(参考：31年度年間出回り量月平均、バター6.5千トン、脱粉11.4千トン)

	バター生産		脱脂粉乳	
	数量	前年比	数量	前年比
26年度	61,649	95.87%	120,921	93.87%
27年度	66,299	107.54%	130,187	107.66%
28年度	63,583	95.90%	123,500	94.86%
29年度	60,087	94.50%	121,583	98.45%
30年度	59,827	99.57%	120,064	98.75%
30.12	5,460	103.11%	12,592	102.02%
R1.1	6,110	103.32%	10,984	95.79%
2	4,953	98.48%	9,720	100.55%
3	6,448	101.86%	12,762	103.98%
4	6,071	101.42%	12,226	104.80%
5	5,974	102.93%	11,591	104.93%
6	4,999	103.66%	9,749	103.81%
7	5,465	116.60%	10,439	120.68%
8	4,721	95.72%	9,099	94.97%
9	3,833	122.97%	7,837	107.68%
10	3,978	105.80%	8,493	108.73%
11	4,108	109.61%	9,218	107.39%
12	5,780	105.90%	12,783	101.50%
令和1.4-11	44,930	114.62%	91,435	115.27%

5. 生乳・生産物・配合飼料価格の推移(前年同月比)

	総合乳価 [円/10kg]		乳廃牛 [円/生体1kg]		子牛(千円/頭)						乳用牛配合飼料 (千円/ばら1トン)	
					ホルオス		交雑種		ホルメス			
23年度	893	100.10%	171	109.60%	37.5	111.30%	117.1	92.40%	203.2	110.30%	62.9	106.10%
24年度	903	101.12%	152	88.89%	32.4	86.40%	103.4	88.30%	220.4	108.46%	62.9	100.00%
25年度	910	100.78%	205	134.87%	46.5	143.52%	143.2	138.49%	217.2	98.55%	70.6	112.24%
30.12	1,044	100.10%	262.2	106.89%	116.8	97.82%	245.4	113.35%	391.9	86.68%	70.7	105.27%
R1.1	1,023	100.49%	264.0	105.98%	103.6	89.31%	235.6	110.77%	425.7	101.16%	70.4	102.13%
2	1,025	100.99%	264.8	109.88%	109.3	84.14%	247.5	114.32%	443.7	102.85%	70.4	102.25%
3	1,027	100.59%	286.2	116.06%	130.7	87.84%	274.5	117.31%	445.3	99.38%	70.4	102.25%
4	1,015	100.79%	322.1	123.93%	141.1	89.53%	295.8	118.32%	432.5	88.94%	69.6	99.37%
5	1,040	102.97%	318.1	113.65%	134.6	88.44%	313.3	121.72%	415.2	94.36%	69.6	99.33%
6	1,042	102.16%	320.1	108.80%	134.5	92.69%	299.7	110.84%	374.0	82.11%	69.6	99.30%
7	1,054	103.33%	326.9	122.76%	135.4	102.42%	305.4	114.98%	366.7	80.54%	69.4	97.28%
8	1,056	101.64%	311.1	131.49%	115.0	95.67%	276.0	106.85%	349.1	81.20%	69.4	97.25%
9	1,064	102.80%	307.8	131.03%	113.0	104.53%	249.9	105.76%	333.8	78.25%	69.4	97.20%
10	1,075	101.61%	319.7	132.16%	96.7	80.32%	228.8	92.93%	302.3	71.03%	70.2	99.15%
11	1,081	102.46%	288.5	116.19%	99.8	81.05%	215.4	89.19%	300.3	77.80%	70.3	99.43%

資料：農林水産省「農業物価統計」

注：1.平成8年度以降の総合乳価平均価格は牛乳乳製品課推計。

2.乳廃牛価格は、中央卸売市場の乳用メス(乳用種)枝肉C1の平均価格であり、年度平均は各月の単純平均。

3.乳子牛価格について、ホルオスは生後7～10日、ホルメスは生後6カ月程度。F1オスについては、道内11市場における加重平均。

4.配合飼料価格は、小売店頭等での購入価格。

5.()内は年度平均価格については対前年度比、月平均価格については対前年同月比。

■米国産穀物の今年度需給見通し（米国農務省2月11日発表）

<期末在庫>大豆は、世界の生産量が消費量を上回り、期末在庫量は前年度より増加する見通し。小麦は、世界の生産量が消費量を上回り、期末在庫量は前年度より増加し、史上最高となる見通し。とうもろこしは、世界の生産量が消費量を下回り、期末在庫量は前年度より減少する見通し。

* 大豆……………前月に比べ、生産は微増、需要は横ばいのため、在庫予想も横ばいとなった。
(前年比52%)

* 小麦……………前月に比べ、生産は横ばい、需要は微増のため、在庫予想は減少となった。
(前年比89%)

* トウモロコシ……前月に比べ、生産は微減、需要は微増のため、在庫予想は減少となった。
(前年比85%)

<需 給>

生 産 9,684万トン
大 豆 需 要 1億 908万トン
(9/1~8/31) 在庫率11.8% 期末在庫1,292万トン(前年比52%)

生 産 5,226万トン
小 麦 需 要 5,825万トン
(6/1~5/31) 在庫率 45.1% 期末在庫2,626万トン(前年比89.4%)

生 産 3億4,778万トン
トウモロコシ 需 要 3億5,740万トン
(9/1~8/31) 在庫率 13.4% 期末在庫4,807万トン(前年比85.2%)

■シカゴ相場 [ドル/ブッシェル]

■為替相場 [東京・銀行間直物中心、円/ドル]

	トウモロコシ	大豆	小麦	対ドル	円相場
12年	6.95	14.66	7.51	12年	82.89
13年	5.78	14.07	6.84	13年	100.16
15年	3.77	9.45	5.07	15年	120.13
2019年1月4日	3.80	9.10	5.20	2019年1月10日	108.15
2019年2月1日	3.80	9.20	5.20	2019年2月14日	111.98
2019年3月1日	3.60	9.00	4.50	2019年3月15日	112.94
2019年4月5日	3.60	9.00	4.70	2019年4月9日	112.42
2019年5月3日	3.60	8.30	4.30	2019年5月20日	111.17
2019年6月7日	4.20	8.60	5.00	2019年6月17日	108.55
2019年7月5日	4.30	8.70	5.20	2019年7月17日	109.32
2019年8月2日	4.00	8.50	4.90	2019年8月19日	107.41
2019年9月6日	3.40	8.50	4.60	2019年9月17日	109.20
2019年10月4日	3.80	9.20	4.90	2019年10月16日	109.74
2019年11月1日	3.90	9.20	5.20	2019年11月25日	109.81
2019年12月6日	3.70	8.90	5.30	2019年12月15日	110.56
2020年1月3日	3.90	9.30	5.60	2020年1月20日	111.19
2020年2月7日	3.80	8.80	5.60	2020年2月24日	113.11

■海上運賃[米ガルフ→日本、穀物、パナマックス(5~8万トン級)、ドル/トン]

【20年度93.37 21年度70.26 22年度61.23 23年度51.57 24年度45.75】

29年1月平均=35.44 2月平均=36.51 3月平均=38.71 4月平均=40.51 5月平均=36.90 6月平均=38.28 7月平均=39.78 9月平均=41.56 10月平均=43.10 11月平均=44.37 12月平均=45.21 30年1月平均=45.52 2月平均=43.95 3月平均=46.81 4月平均=45.81 5月平均=45.31 6月平均=47.11 7月平均=49.36 8月平均=48.85 9月平均=49.83 10月平均=52.45 11月平均=49.77 12月平均=49.59 1月平均=43.55 2月平均=39.05 3月平均=43.90 4月平均=47.02 5月平均=47.38 6月平均=44.41 7月平均=54.11 8月平均=55.69 9月平均=57.94 10月平均=53.18 11月平均=48.64 12月平均=50.11 1月平均=52.35